

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【総括表】

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	生活協同組合 コープみらい	代表者	代表理事・理事長 熊崎 伸	法人・ 事業所 の特徴	「生協の10の基本ケア」を実践し生活リハビリを念頭においてケアを行っております。皆様に在宅生活を続けて頂く為にスタッフ一人一人がご利用者に寄り添い日頃の業務を行っています。又、四季折々のイベントを行っています。倶楽部活動と称し音楽・園芸等の倶楽部活動を行い、皆様に楽しんで頂いております。
事業所名	小規模多機能ホーム コープ夢みらい北本	管理者	釣 正人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	人	11人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>1：職員一人一人が全利用者に対しての情報共有を及び共通認識を持ち、統一したケアを提供できる様にしていく</p> <p>2：常時アセスメントを継続し本人・家族の意向、目標達成、自己実現の達成を含めて最後まで可能な限り在宅生活を継続できる様に職員一丸となって支援・職員の意見を反映させながらケアプランを作成していく。</p> <p>3：朝礼時、職場会等も含めて日々のカンファレンスの開催日・開催時間を随時検討していき、回数頻度が少なくなる様にする事と少人数でも開催できる様に工夫をしていく。</p> <p>4：定期的にダイレクト（居宅・包括・医療機関）の送付や方も営業による周知活動を定期的・継続的に実施する事で知名度・認知度を上昇させていく。</p> <p>5：地域の社会資源を活用しながら地域と一体となって支援をし関わりを密に連携を図っていく。又、職員一丸となって常時アセス</p>	<p>1：利用開始前のアセスメントの情報共有、ご本人・ご家族のご移行を随時確認しながら、利用開始前の振り返り等を実施した事でサービス内容の見直しも行う事ができた。</p> <p>2：アセスメントを継続しながらご利用者の体調変化によってケア内容の見直しを随時実施し、ケアプランに反映、在宅生活継続の支援ができています。</p> <p>3：ご利用者の人数が多かった時は業務に追われ、定期的なカンファレンスは開催できなかったが9月以降は週1回（火）に開催する事ができた。又、回数頻度としては月1回の職場会の際の振り返りしかできなかった。</p> <p>4：R5年9月から居宅・包括・医療機関、老健へダイレクトメールの送付及び訪問営業を実施した事で問い合わせが増加した。</p> <p>5：地域の介護タクシー、配食弁当、有償ボランティアの利用や地域の民生委員やご利用者の近時の方の協力を得ながら在宅生活</p>	<p>1：初回訪問時のアセスメントの実施、カンファレンスを開催しアセスメント内容の情報共有ができています。</p> <p>2：アセスメント時の聴取、カンファレンスで情報共有、本人・家族と一緒にケアプランを立案できています。</p> <p>3：カンファレンスで決まった内容を周知徹底をする事に時間が掛かり直ぐに実践できていない。 ・職員全員の顔を合わせる場が少ない為に意識の共有化ができていない。</p> <p>4：管理者、管理者と職員、計画作成担当者と看護師がペアになり訪問営業や周知活動を月に1回～2回程度実施、相談・依頼を受けています。</p> <p>5：地域の社会資源を活用できる様な方は少ない。 ・市の横出しサービスを活用し「訪問」以外のサービスを補っている。</p> <p>6：R5年5月以降は定期的にボ</p>	<p>1：身体状態の変化、ご本人・ご家族からのニーズがあった際は随時職員と協議をしサービス内容の見直し及びケアプラン修正ができる様にしていく。</p> <p>2：定期的にカンファレンスの曜日（火曜日・随時）を決めて可能な限り行き、ケアプランに反映できた為、今後も継続していく。</p> <p>3：定期的にカンファレンスの曜日（火曜日・随時）を決めて開催、月に1回の職場会にて振り返りや情報共有ができたので今後も可能な限り業務を調整しながら継続していく。</p> <p>4：今後も知名度上昇の為に周知活動は継続をしていく。 又、地域の社会資源を有効活用しながら支援を継続していく。</p> <p>5：今後も介護保険のサービスだけではなく他の社会資源を有効活用しながら支援を継続していく。</p> <p>6：R5年5月以降にコロナが明けた為にボランティア受け入れの継続、地域交流スペースの開</p>

	<p>メントを継続しながらご本人・ご家族のニーズに沿える様に支援をしていく。</p> <p>6: 公団団地自治会（自治会長・事務局長）との地域交流再開、地域交流をスペース開放の再開、特に公団団地は隣接をしている為に公団団地自治会との連携を密に継続、ボランティア受け入れの再開もできる様にしていく。</p> <p>7: 公団団地自治会との地域交流や連携（夢みらい通信・倶楽部活動カレンダーの配布）を継続していく。又、地域交流スペース開放の再開、ボランティア受け入れの再開ができる様に検討をしていく。</p> <p>8: 職場会でヒヤリハット・リスクアセスメント等を含めた定期的な学習会の開催、介護福祉士の国家資格取得（未取得者）を目指す事で事業所全体のケアの質を向上させる事、各職員のスキルアップの為に就業時間内でタブレット等を使用してオンライン研修の受講ができる様に体制を整備していく。</p> <p>9: タブレットの操作中に離れる際は画面をクローズ、記録中に利関する際は記録を裏面にする等の対応を徹底する事で個人情報管理を職員一丸となって意識統一を図っていく。</p>	<p>を支援できていると感じている。</p> <p>6: R4年より公団団地自治会との交流再開、R5年5月以降は地域交流スペース開放の再開、ボランティアの再開もできた為に地域交流を図る事ができた。</p> <p>7: R4年11月から公団団地自治会との交流の再開、R5年5月以降にはボランティア受け入れの再開や地域交流スペース開放の再開ができ、地域交流が図れた。</p> <p>8: 職場会にて定期的な学習会（介護技術も含む）が開催でき、スキルアップを図る事ができた。又、業務都合により就業時間内に各自で研修を受講する事ができなかった。</p> <p>8: 職場会にて定期的な学習会（介護技術も含む）が開催でき、スキルアップを図る事ができた。又、業務都合により就業時間内に各位で研修受講をする事はできなかった。</p> <p>9: ご利用者に対して急な対応についてタブレットや記録がご利用者の目に触れない様には対応ができなかったが、全職員が個人情報管理について意識をしながら日々の業務を取り組む事ができた。</p>	<p>ランティア（小学生の合唱団等）の受け入れの再開、地域交流スペース貸し出しの再開ができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアとして他の施設の活動に個人的に参加している。</li> <li>・地域交流スペースを開放しているものの子供や高齢者が来所される事がほぼ無い。</li> </ul> <p>7: 地域交流スペースが地域の方の風景写真展開催に活用された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公団団地と自治会との共同した取り組みが無い。</li> <li>・地域の方からの意見・苦情を受ける仕組みがあるのかを理解していない。</li> <li>・地域に必要とされる拠点である為の取り組みについてどの様な事を行っているかを理解していない。</li> </ul> <p>8: 毎月の職場会にて研修が実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメントの学習会は職場会で実施している。</li> <li>・ヒヤリハットの記入はその都度行い、同じミスを繰り返さない様にしている。</li> </ul> <p>9: 身体拘束や虐待は現段階では無し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録のバインダーを裏返しにしてプライバシーに配慮をしている。</li> </ul>	<p>放・貸し出しの継続をする事で地域住民が気軽に来所できる様にしていく。</p> <p>7: 隣接している公団団地自治会と共同で実施できるイベント等を企画して検討できる様にしていく。又、地域のイベント等の情報収集をして参加できる様にしていく。</p> <p>8: 職場会で介護技術を含めた研修は実施しているが、外部研修を受ける事ができていない為、受講できる体制を整備していく。又、スキルアップの為に他法人への見学、見学による情報共有や連携が図れる様にしていく。</p> <p>9: 引き続き、個人情報の管理を徹底しながら業務を行っていく。</p>
<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>地域の方が気軽に来て頂ける様に環境を設定をする。介護相談等を設定をする。</p>	<p>ボランティア受け入れ再開、地域交流スペースの開放の再開</p>	<p>地域交流スペースの利用が地域の特定の方しかいない。地域交流スペースがより多くの方に活用してもらった方が良い。</p>	<p>地域の方達が気軽に施設に入っていける様に敷居が低い施設になれる様にしていく事が必要。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>地域の催し物やイベントに参加する。</p>	<p>コロナの感染拡大防止の為に地域のイベントや交流に参加できなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公団団地自治会の防災訓練に参加させて頂く事で自然災害が発生した時を想定して双方での連携や訓練が事前に必要。</li> <li>・公団団地は掲示板が有り、立ち止まって見ている人もいる為、事業所のアピールの為にチラシを貼付するのは良いのではないか。</li> <li>・男性の高齢者は外に出る事が少ない為、居場所作りが必要。</li> <li>・小規模多機能はサービス内容がわかりにくい為、出前説明会や介護相談会（小規模多機能の説明会も含）をやってみてはどうか。</li> <li>・公団団地はEラウンジがある為、介護相談会等を開催してはどうか。</li> <li>・年に2回は防災訓練（通報訓練・避難訓練・消火訓練）へご利用者が参加して頂き、職員と一緒に避難訓練を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベント等に参加できる様に調整・検討をしていく。</li> <li>・公団団地の掲示板へ夢みらい通信・倶楽部活動カレンダーを掲示する旨を検討していく。</li> <li>・</li> </ul>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>地域の方と触れ合えるイベントを検討をする。</p>	<p>コロナの感染拡大防止の為に地域のイベントや交流に参加できなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部へ出ている事を誰にどのようにアピールするかが重要。</li> <li>・R6年5月より北本社協包括主催のオレンジカフェを地域交流スペースにて毎月・第4（金）の13時30分から開催する為に家族や地域の方へアナウンスをしてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者と地域の方と触れ合える企画やイベント等に参加・交流ができる場を提供していただける様に設定を考えていく。</li> <li>・夢みらい通信・倶楽部活動カレンダーへオレンジカフェのアナウンスを掲載し、家族や地域の方達への参加を促す。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>会議の際に出た意見を基に随時検討をする。</p>	<p>会議で出た質問等に対して随時対応を検討・改善を実施していく。</p>	<p>地域の防災訓練に参加した事が無い。 地域のイベント等に参加した事が無い。</p>	<p>会議で出た質問等に対して随時対応を検討し事業所運営に反映をさせていく。</p>

F. 事業所の 防災・災害対策	年に2回は必ず防災訓練（通補訓練・避難訓練・消火訓練）を北本介護センター全体で実施していく。	コロナ期間中の防災訓練時は消防署員は不参加だったが、R5年5月以降は消防署員の同席の元で実施できた。	シフトの関係で防災訓練当時は全職員が参加できていない。	今後も年に2回は防災訓練（2回の内の1回は消防署員立ち合い）を継続していく
--------------------	------------------------------------------------	----------------------------------------------------	-----------------------------	---------------------------------------